

【教育科学編】

- 論文 幼稚園での絵本の読み聞かせに見られる保育者と子どもたちによる相互行為に関する一考察
—「読み聞かせ」というインタラクティブな場はどのように作られているか— …… 伊藤亜紀・玉瀬友美 (1)
- 論文 絵本のテーマの読み取りと授業のとらえ方に及ぼすフォーカシングの影響 …… 上岡眞理・玉瀬友美 (11)
- 論文 唾液アミラーゼを用いるメンタルストレスに及ぼす環境要因の分析 …… 蒲生啓司・大野敬太 (19)
- 論文 地域子育て支援広場「あそぼーや」申し込みのための支援システムの開発
…………… 北川 晃・三ツ石行宏・玉瀬友美・川俣美砂子 (27)
- 論文 音楽科教員養成における教科専門科目「器楽特講」の内容構成に関する一考察：地域貢献活動を目指して
…………… 金 奎道・梶原彰人 (33)
- 論文 自閉スペクトラム症児1例における統合想起課題時脳波の機能性接続パターンとWCCとの関連
…………… 高橋由子・寺田信一 (43)
- 論文 語りから捉えた新任保育者の「保育のわからなさ」観の変化
—幼小連携の人事交流教員を対象として— …… 玉瀬友美・川端美穂・中西さやか・木村彰子・二井仁美 (49)
- 論文 公立小学校のリズムダンス授業における実践的研究
—男性教員の指導力向上を目的として— …… 常行泰子 (57)
- 論文 教員志望学生の実習における学びの質的研究
—体育的活動に関するテキストマイニング分析— …… 常行泰子・長谷川雅世 (63)
- 論文 科学と技術を融合・一体化した教員養成カリキュラムの構築 …… 道法浩孝・蒲生啓司 (69)
- 論文 複式学級における合同学習形態による算数科授業の開発(Ⅱ)
—ユニバーサルデザインを意識した授業モデルの構築とその実践—
…………… 服部裕一郎・松原和樹・是永かな子・近藤修史 (79)
- 論文 算数・数学における系統的な折り紙教材の開発研究(Ⅰ)
—複式学級における合同学習形態による小学校算数科授業における実践— …… 松原和樹・服部裕一郎 (95)
- 論文 Kentucky Education Reform Act 1990 における 教員制度改革施策の特徴(2)
—システムミック・リフォーム・コンセプトにおける位置づけに着目して— …… 柳林信彦 (103)
- 研究ノート 社会科内容の思惟空間論的考察
—市民性教育の理論的課題についての覚書— …… 古市直樹 (111)
- 研究ノート 教員養成課程の学生が科学系博物館に感じた教育実践への可能性の分析
—高知県の学校における理科教育への活用を見据えて— …… 宮崎亮介・赤松 直・原田勇希・草場 実 (123)
- 研究ノート 教員養成課程の学生を対象とした「昆虫の体のつくり」を理解するための授業実践
…………… 村上瑠菜・邊見由美・伊谷 行 (129)
- 調査報告 共起ネットワークを用いた高等学校学習指導要領解説理科編の可視化 …… 宮崎亮介・原田勇希・草場 実 (135)
- 随 想 中国天津市における幼稚園の現状視察 …… 玉瀬友美・劉智萍 (143)
- 資 料 資料：我が国の学校の体罰に関する歴史と現状 …… 加藤誠之 (151)
- 資 料 資料：高知ダルクによるゲストスピーチ逐語録(その3) …… 加藤誠之・高知ダルクの皆さん (165)
- 資 料 資料：「指導死を考える講演会(その3)」逐語録
…………… 加藤誠之・北海道立高等学校吹奏楽部指導死事件の御遺族 (183)

【自然科学編】

- 論文 幼児の基礎的な運動動作に対する簡易評価 …… 幸 篤武・宮本隆信・中山美香・玉瀬友美 (193)

【人文・社会科学編】

- 論文 スウェーデンの後期中等教育学校におけるインクルーシブ教育の展望 …… 是永かな子・石田祥代 (199)
- 論文 ノルウェーの後期中等教育におけるインクルーシブ教育の展望 …… 是永かな子・石田祥代 (209)
- 論文 フィンランドの後期中等教育学校におけるインクルーシブ教育の展望 …… 是永かな子・石田祥代 (221)
- 論文 NHK録音による沖縄音楽レコード:1950-1951年
—湛水流・山内盛彬と「沖縄諸島の古謡と踊の会」— …… 高橋美樹 (231)
- 論文 沖縄県立芸術大学附属図書館田辺文庫所蔵・SPレコード目録
—田辺尚雄旧蔵・最古の沖縄音楽レコードを探る— …… 高橋美樹 (255)
- 論文 地域の運動・スポーツ人材における指導スキルの探索的検討 …… 常行泰子・村田トオル・野中陽一朗 (293)
- 論文 スウェーデンの基礎学校におけるSocial Pedagogue配置の意義
—「インクルーシブ」の観点から— …… 松田弥花 (301)
- 論文 ジェンダー平等社会の形成に関する考察
—女性活躍推進の成果と課題— …… 森田美佐 (313)
-
- 翻 訳 ヘーゲル『精神現象学』饒舌訳の試み 6 …… 原崎道彦 (一)

高知大学教育学部研究報告規程

(投稿資格)

1. 高知大学教育学部研究報告は、高知大学教育学部・教育学専攻教員・教職実践高度化専攻教員の論文等の発表機関誌とする。
2. 原稿を提出する者は、以下のいずれかの条件を満たすものとする。
 - (1) 教育学部・教育学専攻担当教員
 - (2) 教職実践高度化専攻担当教員
 - (3) その他、総務委員会が認めた者なお、共同執筆者は、上記以外の者を含むことができる。

(著作権等)

3. 提出された原稿等（文章・図・表・写真等を含めたすべて）（以下「論文」という。）の著作権等については以下とする。
 - (1) 提出された論文の著作権は、本学に帰属するものとする。掲載された論文、写真、図表等の原文情報を電子化等利用のために著作権法で定められた範囲を越えて利用する場合は、あらかじめ高知大学長に利用の許諾申請をしなければならない。高知大学長は、許諾申請に基づき、著作権法の遵守と著作者の権利を侵害しないと判断した場合は、「高知大学教育学部研究報告論文利用許諾書」（別紙様式2）により許諾を与えるものとする。
 - (2) 投稿に際しては、当該論文の著作権が本学に帰属することを、著者全員が同意しているものとみなす。したがって投稿者は、共著者全員に本手続きを示し、この点に関する承諾を得た上で投稿しなければならない。
 - (3) 本文の一部や図・表・写真等を他の著作物から転載する場合、著作権に係わる問題や法令上の手続きは、著者自身があらかじめ処理しておかなければならない。著作権に関わって生ずる問題の一切は、原稿の執筆者が責任を負うものとする。
 - (4) 掲載する写真等の、プライバシーにも配慮しなければならない。
 - (5) 本学は、電子的記録媒体（CD-ROM、DVD-ROM等）への変換・送信可能化・複製・学内外への配布及びインターネット等で学内外へ公開する権利（公衆送信権、自動公衆送信権等）を専有するものとする。

(原稿の提出及び受理)

4. 原稿は、完成原稿（PDF形式のカメラレディ原稿）とする。原稿は未発表のものに限る。受理後の変更、追加、加筆は認めない。
5. 原稿の提出に際しては、論文・研究ノート・調査報告・翻訳・書評・随想などに区分し、投稿申込書（別紙様式1）を提出する。
6. 投稿者は以下の投稿料を負担する。
なお、投稿料は、1編につき投稿費5,000円ならびに1頁あたり500円の合計額とする。
7. 原稿に添付する図・表およびグラフを印刷所にトレース、組み直し等を依頼する場合、必要経費は執筆者が負担しなければならない。
8. 原稿の作成および投稿の詳細については、「高知大学教育学部研究報告投稿の手引き」によるものとする。
9. 原稿の締め切りは毎年11月30日とし、印刷原稿と電子媒体（使用機種名、ソフト名等を明記）とを総務委員に提出する。締め切り日は厳守する。ただし、締め切り日が土・日曜日の場合は、つぎの月曜日まで待つことができる。
10. 総務委員会は、原稿、投稿申込書を点検し、受理するものとする。

(編集)

11. 編集は、総務委員会が行う。
12. 刊行は、本学教育学部ホームページ上での電子刊行とし次の系列ごとに分類し、1年度1巻とする。なお、国会図書館への送付用、本学保管用として25部程度の各系列合冊としたA4版の冊子体の刊行も行う。なお、提出原稿が大部に及んだ場合分冊にすることがある。
 - (1) 教育科学編（教科教育を含む）
 - (2) 自然科学編
 - (3) 人文・社会科学編
13. 総務委員会は、論文等の形式・レイアウト等について、執筆者と検討することがある。
14. 冊子体の奥付の発行年月は原稿締め切りの翌年の3月とする。
15. 冊子体の奥付に誌名・巻数・発行年月を記載し、発行者（高知大学教育学部）・発行者の住所（所在地）、および著作権を示す「本研究報告に掲載の論文の著作権は高知大学に帰属します。」を和文で記載する。また、投稿者の責任について、「本研究報告上で投稿者の責任において述べられた意見および事実関係の説明は、当総務委員会としての見解を示すものではありません。問題が生じたときの責任はすべて責任者（投稿者）が負うことになっています。」を和文で記載する。印刷所は、印刷社名・住所（所在地）を和文で記載する。

(契約・発注・抜刷)

16. 教育事務室は契約と発注を行うものとする。
17. 執筆者が抜刷りを希望する場合、および、校正を希望する場合、その経費は執筆者が個人研究費で負担するものとする。

昭和44年12月18日		平成16年11月10日	一部改正
昭和49年12月18日	一部改正	平成17年10月12日	一部改正
昭和62年11月25日	一部改正	平成22年6月9日	一部改正
昭和63年12月14日	一部改正	平成23年6月8日	一部改正
平成3年3月18日	一部改正	平成24年3月14日	一部改正
平成11年9月1日	一部改正	平成25年3月13日	一部改正
平成12年7月5日	一部改正	平成30年6月13日	一部改正
平成13年9月12日	一部改正	令和元年7月10日	一部改正
平成15年9月3日	一部改正		

編集後記

『高知大学教育学部研究報告』第80号をお届けいたします。

本号は、教育科学編、自然科学編、人文・社会科学編により構成しております。

当研究報告の編集は総務委員会が担当しております。2013年から紀要の電子化として、高知大学教育学部HP (<http://akebono.ei.kochi-u.ac.jp/>) の教育学部研究報告サイトにも掲載しております。

今回は、前号と同様に多数の投稿となりました。本号に投稿していただいた先生方、ご協力いただいた方々に、心よりお礼申し上げます。

高知大学教育学部総務委員会

委員長 赤松 直

副委員長 伊谷 行

委員 中村 るい

喜多尾 哲

普喜 満生

岩城 裕之

北川 晃

幸 篤武

本研究報告上で投稿者の責任において述べられた意見および事実関係の説明は、当委員会としての見解を示すものではありません。問題が生じた時の責任は、すべて責任者（投稿者）が負うことになっています。

2020年3月発行

高知大学教育学部研究報告 第80号

発行 高知大学教育学部

教育学部長 岡谷 英明

高知市曙町二丁目5番1号

印刷所 (有) 近森 騰 写 堂

高知市本町5丁目5-18

**BULLETIN OF THE
FACULTY OF EDUCATION,
KOCHI UNIVERSITY**

No.80 2020

KOCHI, JAPAN